

平成22年度

# 一般入試学生募集要項

## 【前期日程】

出願期間	平成22年 1 月25日(月)～ 2 月 3 日(水)
試験日	平成22年 2 月25日(木) 経済学部・医学部看護学科・工学部 平成22年 2 月25日(木)・26日(金) 教育福祉科学部・医学部医学科
合格者発表	平成22年 3 月 9 日(火)

## 【後期日程】

出願期間	平成22年 1 月25日(月)～ 2 月 3 日(水)
試験日	平成22年 3 月12日(金) 教育福祉科学部・経済学部 医学部看護学科・工学部
合格者発表	平成22年 3 月21日(日)

大分大学

## 個別学力検査の追試験について

大分大学では、新型インフルエンザに感染又は感染の疑いがある者を対象に、感染拡大の防止及び受験機会の確保の観点から、個別学力検査において、特例措置として追試験を実施します。

追試験の詳細は、決定次第本学ホームページに掲載するとともに、志願者へ受験票を送付する際に通知します。

## 医学部医学科の募集人員について

医学部医学科の入学定員については「経済財政改革の基本方針2009」に基づき、現在、文部科学省に若干名の増員を申請中です。認可された場合は「一般入試（前期）」の募集人員を増員し、「大分県医師修学資金」の貸与を受ける地域枠となる予定ですが、変更もあり得ます。

認可申請が認められた場合は本学ホームページ等で公表しますので、ご確認ください。

# 目 次

## 【全学部共通事項】

大分大学アドミッション・ポリシー	3
------------------	---

## 【教育福祉科学部】

教育福祉科学部アドミッション・ポリシー	7
志望学部・学科等，出願資格，選抜方法	9
1. 一般入試募集人員	10
2. 一般入試前期日程	12
3. 一般入試後期日程	20

## 【経済学部】

経済学部アドミッション・ポリシー	29
志望学部・学科等，出願資格，選抜方法	32
4. 一般入試募集人員	33
5. 一般入試前期日程	34
6. 一般入試後期日程	36

## 【医学部】

医学部アドミッション・ポリシー	41
志望学部・学科等，出願資格，選抜方法	44
7. 一般入試募集人員	45
8. 一般入試前期日程	46
9. 一般入試後期日程	48

## 【工学部】

工学部アドミッション・ポリシー	53
志望学部・学科等，出願資格，選抜方法	57
10. 一般入試募集人員	58
11. 一般入試前期日程	59
12. 一般入試後期日程	61

## 【全学部共通事項】

13. 出願手続	65
14. 入学資格審査について	66
15. 障がいのある者等の事前相談	66
16. 受験の際の宿泊	67
17. 検査場	67
18. 合格者発表	69
19. 追加合格	69
20. 入学手続	69
21. 情報提供	70
22. 過去問題の使用について	71
23. その他	71

一般入試出願書類等【前期日程】

一般入試出願書類等【後期日程】

# 【全学部共通事項】

大分大学アドミッション・ポリシー

# 大分大学アドミッション・ポリシー

## 基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

## 教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

## 求める学生像

意欲をもち、将来への可能性を秘めている人を求めています。

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 旺盛な知的好奇心をもち、新しい課題に積極的に取り組む人
3. 自分のもつ資質を磨き、能力を伸ばしたい人
4. 夢や目的をもち、周囲と協力しつつその実現に向けて努力する人
5. 志をもって国際社会及び地域社会への貢献をめざす人

# 【教育福祉科学部】

教育福祉科学部

アドミッション・ポリシー

志望学部・学科等

出願資格

選抜方法

一般入試募集人員

一般入試前期日程

一般入試後期日程

# 教育福祉科学部アドミッション・ポリシー

## 基本理念

教育・人間福祉を基盤とする教育・研究を推進し、地域の教育・社会・文化の発展のため、専門的知識を創造的・総合的に活用できる人材の養成を行い、豊かな共生社会の実現に寄与することです。

## 教育の目標

- 1 9年間の義務教育を見渡すことのできる広い視野と福祉の心を持ち、教育の現場で澁刺と活躍しうる実践的指導力のある教員を養成します。(学校教育課程)
- 2 「大分から世界へ」を合言葉に国際理解、情報処理、総合的芸術表現に関する教育・研究を行い、国際化社会・高度情報化社会に対応する感性豊かな発想と表現力をもつ人材を育成します。(情報社会文化課程)
- 3 子どもや高齢者、さまざまな障がいをもつ人などを対象とした社会福祉や、すべての人たちが、心身ともに健康で、安心して暮らせる社会の実現をめざす心理・スポーツ健康・生活・環境などの多様な分野で、「人間福祉」の視点をもって活躍しうる人材を養成します。(人間福祉科学課程)

## 求める学生像

### 学校教育課程

- ・教育に取り組む意欲と情熱のある人
- ・現代の人間・社会の諸問題に興味・関心のある人
- ・自ら問題を解決しようと努力する人
- ・子どもと信頼しあい、ともに学び行動できる人
- ・他者への思いやりがあり、周囲と積極的に協力しあえる人

### 情報社会文化課程

- ・知的好奇心が旺盛で、自己表現のための努力を惜しまない人
- ・国際化・高度情報化社会で活躍する意欲のある人
- ・自国と他国の社会や文化に対する理解を深めたい人(社会文化コース)
- ・情報技術を利用して、「情報発信」をめざす人(情報教育コース)
- ・地域文化の創造に貢献する志のある人(総合表現コース)

### 人間福祉科学課程

- ・すべての人々がともに生きる社会の実現をめざし、自ら考え、実践・努力する人
- ・生活上の困難に出合った人の苦しみや悩みに共感し、ともに解決の方法を考えようとする人(社会福祉コース)
- ・他人の心の痛みを理解し、相互成長的な人間関係づくりをめざす人(心理分野)
- ・健康と生涯スポーツに深い関心を持ち、それに関わる事業や活動に積極的に取り組める人(スポーツ・健康分野)
- ・衣・食・住の各面において、これからのライフスタイルのあり方を構想していける人(生活分野)

- ・人間生活を中心に、自然・社会など個々の生活環境について深い興味と問題意識をもっている人（環境分野）

## 入学者選抜の基本方針

本学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般入試（前期日程・後期日程）のほか推薦入試、社会人入試などを実施し、アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。

- ・一般入試（前期日程）

総合的な学力をみるため、大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験は主に5～6教科7科目とし、個別学力検査では募集単位ごとに小論文及び教科の試験又は実技検査を課しています。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成力を含む）をみます。実技検査では技能、感性、基礎運動能力及び表現力の基本的な資質をみます。

- ・一般入試（後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験で指定する教科・科目は募集単位ごとに決められています。また個別学力検査は募集単位ごとに面接、小論文又は実技検査を課しています。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現能力をみます。

- ・推薦入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接（募集単位によっては実技、作品審査が加わる）及び提出書類（募集単位によっては作品を含む）を総合的に判断して選考します。人間福祉科学課程生活環境福祉コース生活分野では大学入試センター試験を課しています。

- ・帰国子女入試、中国引揚者等子女入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。ただし、一部のコースにおいて面接に代えて実技検査を課しています。小論文では論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。帰国子女入試は情報社会文化課程及び人間福祉科学課程（生活環境福祉コースを除く）のみで実施しています。

- ・社会人入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。ただし、一部のコースにおいて面接に代えて実技検査を課しています。小論文では論理的思考力、表現力をみます。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。情報社会文化課程及び人間福祉科学課程（生活環境福祉コースを除く）のみで実施しています。

- ・私費外国人留学生入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接（募集単位によっては実技検査が加わる）及び提出書類を総合して選考します。ただし、出願資格として日本留学試験を受験し所定の要件を満たしていることが必要です。小論文では論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。



## 志望学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般入試（個別学力検査）について、前期日程から一つ、後期日程から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

教育福祉科学部で志望できるコース・分野は、前期日程及び後期日程とも一つのみです。  
※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

## 出願資格

平成22年度大学入学者選抜「大学入試センター試験」で本学が指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者です。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成22年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成22年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成22年3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課入試企画グループへ申し出てください。

(66ページを参照してください)

【注1】学校教育法第90条第2項による高校2年生からのいわゆる飛び入学については、実施しません。

【注2】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

## 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書に基づいて総合判定します。

1. 調査書について

出身高等学校長が作成したものとします。

2. 大学入試センター試験成績の複数年度の利用について

本学では平成22年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。

## 1. 一般入試募集人員【教育福祉科学部】

学部	課程・コース 【注1】	入学定員	募 集 人 員					
			前 期 日 程		後 期 日 程			
教育福祉科学部	発達教育コース	25	19 ②【注2】		6			
	特別支援教育コース	10	3 ②【注2】		2			
	学校教育課程 教科教育コース	65	39 ② 【注2】	小論文と国語	6名程度	10		
				小論文と社会認識	6名程度			
				小論文と数学	6名程度			
				小論文と理科	6名程度			
				小論文と実技(音楽)	3名程度			
				小論文と実技(美術)	3名程度			
				小論文と実技(保体)	3名程度			
				小論文と生活認識	2名程度			
	小論文と英語	4名程度						
	小 計	100	61		18			
	情報社会課程	社会文化コース	15	7 ①②③【注2】		3		
		情報教育コース	20	11 ①②③【注2】		4		
総合表現コース		15	7 ①②③【注2】		3			
小 計		50	25		10			
人間福祉科学課程	社会福祉コース	35	24 ①②③【注2】		5			
	心理健康福祉コース	30	14 ①②③ 【注2】	心理分野	7	8	心理分野	3
				スポーツ・健康分野	7		スポーツ・健康分野	5
	生活環境福祉コース	30	20 ② 【注2】	生活分野	10	6	生活分野	3
				環境分野	10		環境分野	3
小 計	95	58		19				
計	245	144		47				

【注1】教育福祉科学部のコース内の所属について

ア) 学校教育課程発達教育コース及び教科教育コースの入学者は、本人の希望と1年生前学期における成績をもとに、1年生後学期から次の各選修への所属を決定します。

発達教育コース 「教育学(10)」「教育心理学(10)」「幼年教育(5)」

教科教育コース 「国語(8)」「社会(8)」「数学(8)」「理科(8)」「音楽(5)」

「美術(5)」「保健体育(5)」「技術(5)」「家庭科(5)」「英語(8)」

※( )内は推薦入試等他の選抜での入学者を含めた各選修のおおよその定員です。

イ) 人間福祉科学課程心理健康福祉コース及び生活環境福祉コースの入学者は、入学後直ちに出席した分野に所属します。

心理健康福祉コース 「心理分野」「スポーツ・健康分野」 生活環境福祉コース「生活分野」「環境分野」

【注2】各募集人員の①②③は次の入試の募集人員を含みます。

①…帰国子女入試(若干名) ②…中国引揚者等子女入試(若干名) ③…社会人入試(若干名)

推薦入試募集人員【教育福祉科学部】（参考）

学部	課程・コース	入学定員	選修・分野		募集人員	
教育福祉科学部	特別支援教育コース	10			5	
	学校教育課程 教科教育コース	65	音楽選修		2	
			美術選修		2	
			保健体育選修		2	
			技術選修【注】	工業に関する学科・課程，総合学科，普通科を含むその他の学科・課程から	4	
			家庭科選修		3	
			英語選修		3	
	小計				21	
	情報文化社会課程	社会文化コース	15			5
		情報教育コース	20			5
		総合表現コース	15			5
		小計				15
	人間福祉科学課程	社会福祉コース	35	福祉関連の学科・課程から		1
				普通科を含むその他の学科・課程から		5
		心理健康福祉コース	30	心理分野		5
				スポーツ・健康分野		3
		生活環境福祉コース	30	生活分野		2
				環境分野		2
	小計				18	
	計				54	

【注】教科教育コース技術選修の工業，総合学科からの合格者数は，普通科等からの合格者数を下回らないように選抜します。ただし，合格者数が募集人員に達しない場合は，この限りではありません。

## 2. 一般入試前期日程

### 2-1. 入学者選抜の実施教科・科目等【教育福祉科学部・前期日程】

試験区分 学部 (課程・コース)		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査等の教科・科目等	備考
教育福祉科学部	学校	発達教育コース 国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」から1科目 数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目	小論文と 英語〔英語II〕	個別学力検査は小論文と1教科（理科は1科目）又は小論文と実技検査になります。なお、教科教育コースは教科・科目等の複数選択はできません。
		特別支援教育コース 理科①「理科総合B」「生物I」 理科②「理科総合A」「化学I」 理科③「物理I」「地学I」 } から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (6教科7科目)	小論文と 国語 数学〔数学I・数学II・数学A・数学B〕 英語〔英語II〕 } から1教科 (複数教科選択可)	
	教科教育コース 国語「国語」 1科目 数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } 地歴公民から2科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」と理科から1科目 理科①「理科総合B」「生物I」 } 又は理科から2科目 理科②「理科総合A」「化学I」と地歴公民から1科目 理科③「物理I」「地学I」 } 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5～6教科7科目)	小論文と 国語 社会認識を問う問題 数学〔数学I・数学II・数学A・数学B〕 理科〔物理I〕 } から1科目 〔化学I〕 〔生物I〕 〔地学I〕 実技検査〔音楽〕(16ページ参照) 実技検査〔美術〕(16ページ参照) 実技検査〔保健体育〕(16ページ参照) 生活認識を問う問題 英語〔英語II〕		

試験区分		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査等の教科・科目等
教育学部 (課程・コース)	情報社会文化課程	社会文化コース 国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」から1科目 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 } から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (6教科7科目)	国語と 英語〔英語Ⅱ〕
	情報教育コース	情報教育コース 国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 } から2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目)	英語〔英語Ⅱ〕と 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B〕 理科〔物理Ⅰ〕 〔化学Ⅰ〕 〔生物Ⅰ〕 〔地学Ⅰ〕 } から1教科 (理科は1科目) (複数教科選択可)
	総合表現コース	総合表現コース 国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 } から1教科 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 } 1科目 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 } 又は2科目 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目と 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 } 計2科目 から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (3教科3～4科目)	実技検査 (17ページ参照)

試験区分		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査等の教科・科目等	備考		
学部 (課程・コース)	人間福祉	社会福祉コース	国語「国語」 1科目 (6教科7科目) 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」から1科目 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目	小論文と英語〔英語Ⅱ〕	個別学力検査は小論文と1教科(理科は1科目)又は実技検査と1教科になります。	
		心理健康福祉コース	心理分野 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目	小論文と国語 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 } から1教科 英語〔英語Ⅱ〕 (複数教科選択可)		
		スポーツ・健康分野	理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 } から1科目 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 } 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 } 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目	実技検査(17ページ参照)と国語 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 } から1教科 英語〔英語Ⅱ〕 (複数教科選択可)		
	福祉科学	生活環境	生活分野	国語「国語」 1科目 (5～6教科7科目) 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } 地歴公民から2科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } と理科から1科目 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 } 又は理科から2科目 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 } と地歴公民から1科目 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 } 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目		小論文と国語 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 } から1教科 英語〔英語Ⅱ〕 (複数教科選択可)
			環境	国語「国語」 1科目 (5教科7科目) 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 } から2科目 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 } 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 } 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目		小論文と理科〔物理Ⅰ〕 } から1科目 〔化学Ⅰ〕 } 〔生物Ⅰ〕 } 〔地学Ⅰ〕 }
		福祉	環境分野	国語「国語」 1科目 (5教科7科目) 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 } から2科目 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 } 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 } 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目		小論文と理科〔物理Ⅰ〕 } から1科目 〔化学Ⅰ〕 } 〔生物Ⅰ〕 } 〔地学Ⅰ〕 }

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

- ア) この表中の「     」及び〔     〕書きは、科目の区分を示します。
- イ) 複数の教科・科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【注2】 大学入試センター試験について

- ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。筆記とリスニングの両方を受験してください。  
 なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。
- イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

【注3】 個別学力検査について

- ア) 国語は（国語総合）に（国語表現Ⅰ，現代文，古典）を加えた出題範囲とします。
- イ) 数学Bの出題範囲については、次のとおりです。  
 （数列，ベクトル）
- ウ) 小論文のねらいについては、下記のとおりです。

教育福祉科学部に共通したねらい		現代社会の抱える課題や当該コース・分野に関わる問題への関心や理解力，論理的・科学的思考力，表現力などを問います。
学校教育課程	発達教育コース	現代の人間，教育，社会等に関する理解力，論理的・科学的思考力，表現力などを問います。
	特別支援教育コース	
	教科教育コース	
人間福祉 科学課程	社会福祉コース	人々の生活の中で生じる人間と自然，個人と社会，人間と人間との関わりなどについて，基礎的理解力，論理的・科学的思考力，表現力などを問います。
	心理健康福祉コース (心理分野)	
	生活環境福祉コース (生活分野)	
	生活環境福祉コース (環境分野)	

エ) 前期日程実技検査等の内容 (表現力, 音楽的能力, 造形力, 運動能力など当該コース・分野等に関わる資質を評価します。)

課程等		検査項目	検査の内容	検査当日持参するもの																
学校教育課程	音楽 (全項目 必須です)	聴音	単旋律の書き取りの検査を行います。	筆記用具																
		コール ユーブンゲン	コールユーブンゲン第1巻, No.39 ~ 71 (原書番号)の中から1曲を検査当日指定します。固定ド唱法, 移動ド唱法のいずれかで歌ってください。																	
		声楽	次の歌曲の中から1曲を選び, 暗譜, 原語で歌ってください。 (歌う曲の作曲者・曲名は所定の曲目調査票に記入の上, 志願書とともに提出してください。なお, 移調を希望する場合は, 曲目調査票の当該欄に○印をつけ, 伴奏譜を志願書とともに提出してください。伴奏者は本学が用意します。)  <table border="0"> <tr> <td>* Vegin, tutto amor</td> <td>ドゥランテ</td> <td>作曲</td> <td>ハ短調</td> </tr> <tr> <td>* Star vicino</td> <td>ローザ</td> <td>作曲</td> <td>イ長調</td> </tr> <tr> <td>* Già il sole dal Gange</td> <td>A. スカルラッティ</td> <td>作曲</td> <td>変イ長調</td> </tr> <tr> <td>* 母</td> <td>小松 耕輔</td> <td>作曲</td> <td>変イ長調</td> </tr> </table>	* Vegin, tutto amor	ドゥランテ	作曲	ハ短調	* Star vicino	ローザ	作曲	イ長調	* Già il sole dal Gange	A. スカルラッティ	作曲	変イ長調	* 母	小松 耕輔	作曲	変イ長調	
		* Vegin, tutto amor	ドゥランテ	作曲	ハ短調															
	* Star vicino	ローザ	作曲	イ長調																
* Già il sole dal Gange	A. スカルラッティ	作曲	変イ長調																	
* 母	小松 耕輔	作曲	変イ長調																	
器楽 (ピアノ)	ハイドン, モーツァルト, ベートーヴェンのピアノソナタの中から1曲を選び, 第1楽章又は終楽章(ただし, 緩徐な楽章は除きます。)を暗譜, 繰り返しなしで演奏してください。 (演奏する曲の作曲者・曲名・楽章等は, 所定の曲目調査票に記入の上, 志願書とともに提出してください。)																			
美術	実技	鉛筆によりB3画用紙に静物の描写を行います。	鉛筆 消しゴム ネリゴム																	
	保健体育	体育実技	1. 基礎的運動能力 (短距離走, 立ち幅とび, 反復横とび, 3分間シャトル走) 2. 身体及び用具操作の基礎的能力	運動服 屋内用スポーツシューズ 屋外用スポーツシューズ (スパイク不可)																



課程等		検査項目	検査の内容	検査当日持参するもの
情報 社会 文化 課程	総合表現	実 技	次のAからCの中から1項目を選択してください。	
			A. 身体表現：与えられた課題に基づいて、5分程度の身体による作品を創作し、演技してください。創作時間は昼食を挟んで約3時間です。	表現に適した服装。床面の都合でトウシューズは使用できません。
			B. 美術表現：鉛筆により木炭紙大の用紙に描写を行います。検査時間は昼休みを挟んで10時から16時までの約5時間です。	鉛筆描写に必要な用具 (カルトンと用紙は本学が準備します)
			C. 音楽表現：次の2つの検査を行います。 1. コールユーブンゲン コールユーブンゲン第1巻, No.45~71 (原書番号) の中から1曲を検査当日指定します。固定ド唱法, 移動ド唱法のいずれかで歌ってください。 2. 音楽による自己表現※ 任意の楽曲を1曲選び (志願者が作曲した楽曲でもかまいません), 演奏してください。演奏手段は, 歌, ピアノ, 管楽器のいずれかです。 * 本学所定の曲目調査票に演奏曲目等を記入し, 志願書とともに提出してください。 * 歌の場合は, 志願者氏名を明記したピアノ伴奏譜を, 志願書, 曲目調査票とともに提出してください。伴奏者は本学が用意します。	ピアノ以外の楽器を使用する場合は各自持参してください。
人科 間学 福祉 課程	心理健康 福祉 (スポーツ・ 健康)	基礎実技	与えられた運動課題を遂行する基礎的能力の検査	運動服 屋内用スポーツシューズ

【注1】 実技で昼食が必要な場合には、検査時間中に昼食時間帯を設けますので、検査場に昼食を持参してください。

【注2】 実技検査等の内容に関する問い合わせについては、出題に抵触する場合がありますので、この内容以外のことはお答えできません。

※平成23年度より、管楽器は演奏手段から選択できません。

2-Ⅱ. 個別学力検査等の日程及び検査時間【教育福祉科学部・前期日程】

日程及び時間・選択科目の選択方法について

志望する課程 ・コース等		検 査 日	2月25日(木)				2月26日(金)	備 考 (教科・科目 の選択方法)	
		検 査 時 間	10:00 ～ 11:20	12:20 ～ 13:30	14:15 ～ 15:25	16:10 ～ 17:20	(実技検査)		
学校教育課程	発達教育コース			◎小論文		◎英語			
	特別支援教育コース	△数学		◎小論文	△国語	△英語		複数教科選択可	
	教科教育コース	△数学		◎小論文	△国語 △社会認識 △理科 △生活認識	△英語	△ 音楽 10:00～16:30 △ 美術 10:00～13:00 △ 保健体育 10:00～15:30	小論文と 1教科選択	
情報社会 文化課程	社会文化コース				◎国語	◎英語			
	情報教育コース	△数学			△理科	◎英語		複数教科選択可	
	総合表現コース						◎ 10:00～16:30 (詳細は実技検査の内容参照)		
人間福祉科学課程	社会福祉コース			◎小論文		◎英語			
	心理健康 福祉コース	心理分野	△数学		◎小論文	△国語	△英語		複数教科選択可
		スポーツ・ 健康分野	△数学			△国語	△英語	◎ 10:00～16:00	複数教科選択可
	生活環境 福祉コース	生活分野	△数学		◎小論文	△国語	△英語		複数教科選択可
環境分野				◎小論文	◎理科				

【注1】 ◎は必須，△は選択を示します。

【注2】 筆記試験は当該試験終了まで退室できません。筆記試験・実技検査開始時刻に遅刻した場合は，検査開始時刻後20分以内に限り，受験を認めます。

2-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点【教育福祉科学部・前期日程】

学部	課程	コース (分野)	大学入試センター試験					個別学力検査等								合計点			
			国語	地歴 公民	数学① 数学②	理科① 理科② 理科③	外国語	国語	社会認 識を問 う問題	数学	理科	英語	生活認 識を問 う問題	実技	小論文				
教育福祉科学部	学校教育	発達教育	100	50×2	50×2	50	100					100			100	650			
		特別支援教育						[100]		[100]									
		教科教育 【注3】	100	50×2 50	50×2	50 50×2	100	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)					
	情報社会文化	社会文化	100	50×2	50×2	50	100	100				100			650	650			
		情報教育	100	50	50×2	50×2	100			[100]	[100]	100							
		総合表現	100	100				100						350					
	人間福祉科学	社会福祉	100	50×2	50×2	50	100					100			150	700			
		心理健康福祉 (心理)						[100]		[100]		[100]		150					
		心理健康福祉 (スポーツ・健康)						[100]		[100]		[100]	150						
		生活環境福祉 (生活)【注3】						100	50×2 50	50×2	50 50×2	100	[100]		[100]			[100]	
生活環境福祉 (環境)		100						50	50×2	50×2	100				100				150

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査等で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【注2】 大学入試センター試験の配点は、複数の教科・科目を受験した場合、高得点のものを合否判定に使用します。

【注3】 教科教育コース及び生活環境福祉コース（生活分野）にて、大学入試センター試験で地歴と公民から2科目を受験した場合、及び理科①、理科②、理科③から2科目又は3科目を受験した場合は、それぞれ高得点（地歴公民から2科目と理科から1科目又は理科から2科目と地歴公民から1科目）のものを合否判定に使用します。

【注4】 入学者選抜の配点にあたっては、まず大学入試センター試験「英語」の筆記試験とリスニングテストの成績の合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。次に上記の表に記載しているセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。

【注5】 個別学力検査等の（ ）書きの配点は、1教科選択を示します。

【注6】 個別学力検査等の[ ]書きの配点は、複数の教科・科目を受験できますが、高得点のものを合否判定に使用します。

### 3. 一般入試後期日程

#### 3-I. 入学者選抜の実施教科・科目等【教育福祉科学部・後期日程】

学部 (課程・コース)		試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査等の教科・科目等	備考
教育福祉科学部	学校教育	発達教育コース	国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 から1科目 数学①「数学I・数学A」 1科目	面接	
		特別支援教育コース	数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科①「理科総合B」「生物I」 } 理科②「理科総合A」「化学I」 } から1科目 理科③「物理I」「地学I」 } 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (6教科7科目)		
	教科教育コース	国語「国語」 1科目 数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 地歴公民から2科目 理科①「理科総合B」「生物I」 } と理科から1科目 理科②「理科総合A」「化学I」 } 又は理科から2科目 理科③「物理I」「地学I」 } と地歴公民から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5～6教科7科目)			

試験区分 学部 (課程・コース)		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査等 の教科・科目等	備 考
教 育 福 祉 科 学 部 課 程	情 報 社 会 文 化	社会文化 コース  国 語「国語」 1科目  地 歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公 民「現代社会」「倫理」「政治・経済」  外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 <div style="text-align: right;">(3教科3科目)</div>	面 接	
	情 報 教 育	情報教育 コース  国 語「国語」 1科目  数学①「数学I・数学A」 1科目  数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目  理科①「理科総合B」「生物I」 理科②「理科総合A」「化学I」 理科③「物理I」「地学I」 } から1科目  外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 <div style="text-align: right;">(4教科5科目)</div>		
	総 合 表 現	総合表現 コース  国 語「国語」 1科目  外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 <div style="text-align: right;">(2教科2科目)</div>		

学部 (課程・コース)		試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査等の教科・科目等	備考
教育福祉科学部	人間福祉科学課程	社会福祉コース	国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 から1科目	小論文	
		心理健康福祉コース	数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目	面接	
		スポーツ健康分野	理科①「理科総合B」「生物I」 理科②「理科総合A」「化学I」 理科③「物理I」「地学I」 } から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (6教科7科目)	実技検査 (23ページ参照)	
	生活環境福祉コース	生活分野	国語「国語」 1科目 数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 地歴公民から2科目 理科①「理科総合B」「生物I」 } と理科から1科目 理科②「理科総合A」「化学I」 } 又は理科から2科目 理科③「物理I」「地学I」 } と地歴公民から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5～6教科7科目)	面接	
		環境分野	国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科①「理科総合B」「生物I」 理科②「理科総合A」「化学I」 } から2科目 理科③「物理I」「地学I」 } 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7科目)		
		環境分野	国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科①「理科総合B」「生物I」 理科②「理科総合A」「化学I」 } から2科目 理科③「物理I」「地学I」 } 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7科目)		

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。

イ) 複数の教科・科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。筆記とリスニングの両方を受験してください。なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。

イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

【注3】 個別学力検査について

ア) 小論文のねらいについては下記のとおりです。

人間福祉 科学課程	社会福祉コース	現代社会の抱える課題や本コースに関わる問題への関心や理解力、論理的・科学的思考力、表現力などを問います。また、人間と社会及びその両者の関係性を広く、全体的かつ客観的にとらえる力とそこに生じる諸問題を分析、考察する際の視点と発想を問います。
--------------	---------	---

イ) 面接は複数の面接委員により行い、当該コース・分野等への関心、意欲、理解力、表現力などを評価します。

ウ) **後期日程**実技検査等の内容（表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該コース・分野などに関わる資質を評価します）

課 程 等	検査項目	検 査 の 内 容	検査当日持参するもの
情報社会文化課程 総合表現コース	実技	検査室内の約5m×5m、天井までの高さ約3mの空間で、自由な方法やテーマでの自己表現を行います。 1) 検査方法について ・検査は検査室に一人ずつ入室して行います。 ・入室してから表現を完了し、退出するまでの検査時間は8分以内です。 ・自分や他人に対して危険なことや器物を損壊するようなこと、その他きわめて非常識と思われることは禁止します。 ・あらかじめ制作、創作した作品を発表してもかまいません。 ・表現に使用する用具や材料は各自で持参し、準備してください。 2) 検査室について ・電源は使用できます（交流100V、15A）。 ・検査室にはピアノがあり、それを使用することができます。 ・検査室には土足で入室できませんが、自分の表現に適した上履きを用いてもかまいません。 ・検査室にはCD、MD、カセットデッキがあり、それを使用することができます。 3) その他 ・検査室には、机・椅子がありますが、これらを自己表現の素材として使用することはできません。	ピアノ以外の表現に使用する用具や素材は各自持参してください
人間福祉科学課程 心理健康福祉コース (スポーツ・健康分野)	基礎 実技	与えられた運動課題を遂行する基礎的能力を検査します。	運動服 屋内用スポーツシューズ

【注1】 実技検査の内容に関する問い合わせについては、出題に抵触する場合がありますので、この内容以外のことはお答えできません。

【注2】 **総合表現コースの実技検査内容は、前期と後期とでは異なっていますので、十分注意してください。**

### 3-Ⅱ. 個別学力検査等の日程及び検査時間【教育福祉科学部・後期日程】

検査期日	課 程	コ ー ス 等		検査科目等	検査時間	備 考
3月12日(金)	学校教育課程	発達教育コース		面接	10:00～15:30	<p>受験者は、9時30分までに集合し、入室着席（場所は当日掲示）してください。</p> <p>面接・実技を受験する者は検査時間中に昼食時間帯を設ける場合がありますので検査場に昼食を持参してください。</p> <p>面接・実技の終了時刻は変更することがあります。</p>
		特別支援教育コース		面接	10:00～15:30	
		教科教育コース		面接	10:00～15:30	
	情報社会文化課程	社会文化コース		面接	10:00～15:30	
		情報教育コース		面接	10:00～15:30	
		総合表現コース		実技	10:00～16:30	
	人間福祉科学課程	社会福祉コース		小論文	10:00～11:00	
		心理健康福祉コース	心理分野	面接	10:00～15:30	
			スポーツ・健康分野	実技	10:00～16:00	
		生活環境福祉コース	生活分野	面接	10:00～15:30	
環境分野			面接	10:00～15:30		

【注1】筆記試験は当該試験終了まで退室できません。筆記試験・実技検査開始時刻に遅刻した場合は、検査開始時刻後20分以内に限り、受験を認めます。

【注2】面接検査開始時刻に遅刻した場合は、面接者の1組目または1人目の試験が始まるまでに限り、受験を認めます。



3-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点【教育福祉科学部・後期日程】

学部	課程	コース (分野)	大学入試センター試験					個別学力検査等			合計点
			国語	地歴 公民	数学① 数学②	理科① 理科② 理科③	外国語	面接	実技	小論文	
教育 福祉 科学部	学校教育	発達教育	100	50×2	50×2	50	100	100			550
		特別支援教育						100			
		教科教育 【注3】	100	50×2 50	50×2	50 50×2	100	100			
情報 社会 文化	情報社会文化	社会文化	150	100			150	100			500
		情報教育	100		50×2	50	150	100			
		総合表現	100				100		300		
人間 福祉 科学部	人間福祉科学	社会福祉								150	600
		心理健康福祉 (心理)	100	50×2	50×2	50	100	150			
		心理健康福祉 (スポーツ・健康)							150		
		生活環境福祉 (生活)【注3】	100	50×2 50	50×2	50 50×2	100	150			
		生活環境福祉 (環境)	100	50	50×2	50×2	100	150			

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査等で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【注2】 大学入試センター試験の配点は、複数の教科・科目を受験した場合、高得点のものを合否判定に使用します。

【注3】 教科教育コース及び生活環境福祉コース（生活分野）にて、大学入試センター試験で地歴と公民から2科目を受験した場合、及び理科①、理科②、理科③から2科目又は3科目を受験した場合は、それぞれ高得点（地歴公民から2科目と理科から1科目又は理科から2科目と地歴公民から1科目）のものを合否判定に使用します。

【注4】 入学者選抜の配点にあたっては、まず大学入試センター試験「英語」の筆記試験とリスニングテストの成績の合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。次に上記の表に記載しているセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。

# 【 経済学部 】

経済学部アドミッション・ポリシー

志望学部・学科等

出願資格

選抜方法

一般入試募集人員

一般入試前期日程

一般入試後期日程

# 経済学部アドミッション・ポリシー

## 教育理念・目標

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学習することを通じて、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。

こうした人たちが今日の高度化・複雑化する社会に柔軟に対応しながら、各方面で真価を発揮するためには、基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的能力が重要です。そこで、学生の基礎的能力を高めることを本学部の教育目的とします。

この目的を達成するために基礎学力を伸ばすことのできる多様な授業、カリキュラムを編成するとともに、少人数教育に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を育成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

## 求める学生像

本学部は、経済社会の諸問題に関心をもつ人に対して、その基礎的能力を高めることを教育の目的としています。

したがって、本学部に入学する人は、経済社会への関心や基礎学力を有すると同時に、自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ学生であってほしいと考えています。とくに、いきいきとした好奇心をもち続けられる人、しっかりした自分を持ち自己表現ができる人、そして、バイタリティーあふれる人を本学部は求めています。卒業後の進路として、次のような目標をもっている人が入学することを歓迎します。

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事やベンチャービジネスの起業などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば公務員、国税専門官、裁判所職員や警察などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員や研究調査の仕事、また大学院進学などをめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば国際公務員や海外ボランティア、また外国企業で働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場やマスコミ、病院、福祉施設などで働くことをめざす人）

## 《各学科の特色》

本学部は、次の三つの学科によって構成され、それぞれ特色ある授業を提供しています。

とりわけ地域経済や地域社会に関する豊富な授業は他大学にはみられない充実したものです。学生は入学時に学科を決めず、基礎を幅広く学んだのち各自の希望に応じて所属学科を決めますが、学生の多様な関心やニーズに対応し、多面的な学習ができるように所属学科にかかわらず豊富なメニューのなかから自由に選択できるようにしています。

#### 〈経済学科〉

経済学科では、家計、企業、政府などの経済主体の行動から構成される経済現象の全体像について学びます。分析にあたっては、さまざまな経済現象の関連性に着目して、それらの因果関係を明らかにすることを重視します。

#### 〈経営システム学科〉

経営システム学科では、現代企業のかかえる諸問題を正確に分析し、解明するための方法を学びます。基本的には経営学・会計学・商学を中心にして、理論と実践の統合をはかっています。

#### 〈地域システム学科〉

地域システム学科は、地域レベルで生じているさまざまな地域問題を社会学・地理学・社会福祉学・法学・コミュニケーション学などに立脚しながら総合的・学際的にとらえ、その具体的解決策を模索することを目的としています。

### 入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試（普通推薦、商業推薦）、アドミッション・オフィス入試（AO入試）、社会人入試などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることをめざしています。

#### ・一般入試（前期日程）

高等学校において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は6教科7科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を選択します。

#### ・一般入試（後期日程）

高等学校において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は5教科5科目とし、個別学力検査では小論文を課します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

#### ・推薦入試（普通推薦、商業推薦）

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力をみます。

#### ・アドミッション・オフィス入試

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲を持つ学生を選抜するため、大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書及び調査書等による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。

小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力をみ

ます。

・帰国子女入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・中国引揚者等子女入試

大学入試センター試験を免除し、英語、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・社会人入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から1教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・第3年次編入学

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

## 志望学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般入試（個別学力検査）について、前期日程から一つ、後期日程から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

経済学部では、前期日程及び後期日程とも募集人員を一括して募集し、入学後に経済学科、経営システム学科又は地域システム学科の専攻を決定します。

※公立大学協会ホームページ（<http://kodaikyo.org/nyushi>）参照

## 出願資格

平成22年度大学入学者選抜「大学入試センター試験」で本学が指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者です。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成22年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成22年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成22年3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課入試企画グループへ申し出てください。

(66ページを参照してください)

【注1】学校教育法第90条第2項による高校2年生からのいわゆる飛び入学については、実施しません。

【注2】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

## 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書に基づいて総合判定します。

1. 調査書について

出身高等学校長が作成したものについて審査します。

2. 大学入試センター試験成績の複数年度の利用について

本学では平成22年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。

#### 4. 一般入試募集人員【経済学部】

学部	学 科【注1】	入学定員	募 集 人 員			
			アドミッション・ オフィス入試	推薦入試	前期日程	後期日程
経 済 学 部	経済学科	130	英語資格 5 簿記資格 10	普通推薦 50 商業推薦 30	120	90 【注2】
	経営システム学科	130				
	地域システム学科	45				
	計	305				

【注1】 経済学部は、入学後に所属学科を決定します。

【注2】 後期日程には次の入試の募集人員を含みます。

- ・ 帰国子女入試（若干名）
- ・ 中国引揚者等子女入試（若干名）
- ・ 社会人入試（若干名）

## 5. 一般入試前期日程

### 5-I. 入学者選抜の実施教科・科目等【経済学部・前期日程】

試験区分 学部・学科		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等
経 済 学 部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	国語「国語」 1科目	数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 英語〔英語Ⅰ・英語Ⅱ・ リーディング・ライティング〕 } から 1教科
		地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」 「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目	
		公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 から1科目	
		数学①「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」 から1科目	
		数学②「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 「工業数理基礎」「簿記・会計」 「情報関係基礎」 } から1科目	
		理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 } から1科目	
外国語「英語」「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」「韓国語」 } から1科目 (6教科7科目)			

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」及び「 」書きは、科目の区分を示します。

イ) 複数の科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち最高得点のものを合否判定に使用します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。

なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【注3】 個別学力検査について

ア) 数学Bの出題範囲については、次のとおりです。(数列、ベクトル)



5-Ⅱ. 個別学力検査の日程及び検査時間【経済学部・前期日程】

検査期日	学 科	検 査 科 目 等	検 査 時 間
2月25日(木)	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 英語〔英語Ⅰ・英語Ⅱ・ リーディング・ライティング〕	から1教科 10:00～11:40

【注】当該試験終了まで退室できません。試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内に限り、受験を認めます。

5-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【経済学部・前期日程】

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験							個別学力検査	合計点
国 語	地 歴	公 民	数学①	数学②	理科①, 理科② 又は理科③	外国語	数学又は英語	
100	100	100	100	100	(100)	200	200	1000

【注1】大学入試センター試験及び個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【注2】（ ）書きの配点の教科・科目については、受験している科目のうち最高得点のものを合否判定に使用します。

## 6. 一般入試後期日程

### 6-I. 入学者選抜の実施教科・科目等【経済学部・後期日程】

試験区分		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等
学部・学科			
経済学部	経済学科	国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」から1科目	小論文
	経営システム学科	数学①「数学I」「数学I・数学A」 数学②「数学II」「数学II・数学B」	
	地域システム学科	「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 } から1科目	
		外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科5科目)	

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。

イ) 複数の科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち最高得点のものを合否判定に使用します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。

なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。

また、入学者選抜の配点にあたっては、次ページの表に記載しているセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【注3】 個別学力検査について

ア) 小論文は、高等学校の段階における総合的な学力到達度を検査する大学入試センター試験を補うものとして、次の資質をみようとするものであり、広く社会科学の素材に基づく出題を行います。ただし、専門的知識・用語は必要としません。

(a) 理解力(あるいは大意把握力) (b) 論理的思考力 (c) 表現力

6-Ⅱ. 個別学力検査の日程及び検査時間【経済学部・後期日程】

検査期日	学 科	検 査 科 目 等	検 査 時 間
3月12日(金)	経 済 学 科	小 論 文	10:00 ~ 11:40
	経 営 シ ス テ ム 学 科		
	地 域 シ ス テ ム 学 科		

【注】当該試験終了まで退室できません。試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内に限り、受験を認めます。

6-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【経済学部・後期日程】

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験					個別学力検査	合計点
国 語	地 歴	公 民	数学①又は数学②	外国語	小論文	
100	100	100	(100)	100	200	700

【注1】大学入試センター試験及び個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【注2】（ ）書きの配点の教科・科目については、受験している教科・科目のうち最高得点のものを合否判定に使用します。

# 【 医 学 部 】

医学部アドミッション・ポリシー

志望学部・学科等

出願資格

選抜方法

一般入試募集人員

一般入試前期日程

一般入試後期日程

# 医学部アドミッション・ポリシー

## 基本理念

医と看護に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学及び看護学の知識並びに技術、そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師、更には医学、看護学研究者を養成し、これら学問の進歩、国民の健康の維持増進、医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

## 教育の目標

### 医学科

患者の立場を理解した全人的医療を行い、豊かな教養と人間性、高度の学識、問題解決能力、生涯学習能力及び国際的視野を備えた医師や研究者を養成します。

### 看護学科

人々が心身ともに健康な生活を営めるよう、適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の習得を促し、看護学の発展と地域住民の保健・医療・福祉の向上、ひいては国際社会への貢献ができるよう、豊かな人間性を備えた人材を養成します。

## 求める学生像

### 医学科

- 1 医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 患者の痛みを分かち合い、患者に対する思いやりに満ちた慈愛の心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 3 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を習得するため、たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人
- 4 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人

### 看護学科

- 1 看護を通して社会に貢献しようとする意志と、他者の喜び、苦しみを分かち合える温かい心を持っている人
- 2 日進月歩の医療及び激動する社会の変化に対応しうる知識と技術の習得のため、たゆまぬ努力と自己研鑽（生涯学習）を重ねる人
- 3 国の内外を問わず、社会に起こっている問題に関心を持ち、それに対して自分の考えが述べられるような教養を備えている人
- 4 何ごとにも積極性を持ち、多くの人と交流ができる社会性を備えている人

## 入学者選抜の基本方針

### 医学科

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科では、一般入試とアドミッション・オフィス入試を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受

験者の学力や資質を評価しています。また、医学以外の学問を修めた大学卒業者を対象に2年次後学期への学士編入学を実施しています。

・一般入試（前期日程）

一般入試では、高等学校等での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験は5教科7科目を課しています。個別学力検査では、前期日程において、理科（物理・化学・生物から2科目選択）、数学、英語の3教科の学力を測るとともに、高等学校等の調査書により受験者の素養を評価します。また、面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

・アドミッション・オフィス入試（略称「AO入試」）

AO入試とは、従来の高等学校長による推薦ではなく自己推薦による入試であり、本学部アドミッション・ポリシーに掲げた求める学生像について、学力のみで選抜するものとは異なり、丁寧な面接により適性等を評価し選抜するものです。一般入試と同じく大学入試センター試験は、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、5教科7科目を課しています。面接では、個人面接と集団面接を行い、医学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・リーダーシップ・協調性・独創性等を評価します。また、自己推薦書、調査書及び特別活動に関する調査書から、志願者がどのような高校生活を送ってきたかを、課外活動やボランティア活動、資格等を中心に評価します。

・学士編入学

学士編入学では、多様な専門能力、明確な問題意識や高い問題解決能力を有する人材並びに地域医療の場で活躍できる人材を受け入れるため、次のような3段階による選抜方法を実施しています。第1次選抜では小論文を含む書類審査を、第2次選抜では生命科学に関する総合問題と英語の学力審査を、第3次選抜では個人面接と課題発表形式を取り入れた集団面接を行っています。

## 看護学科

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、看護学科では、一般入試と推薦入試を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、社会人を対象とした入試や、看護系短期大学・専修学校の卒業者等を対象とした3年次編入学を実施しています。

・一般入試（前期日程・後期日程）

一般入試では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験については6教科7科目を課しています。また、個別学力検査については、前期日程では小論文を課すことにより、論理的思考力・表現力・読解力・看護学を学ぶための適性等を評価します。後期日程では面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

・推薦入試

推薦入試では、大学入試センター試験を免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接と集団面接を行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。また、高等学校長等の推薦書及び調査書から、志願者がどのような高校生活を送ってきたかという学習態度等を評価します。

- ・ 社会人入試

社会人入試では、社会人としての経験を看護の分野に活かしてゆくことのできる有能な人材を受け入れるため、大学入試センター試験を免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接と集団面接を行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。

- ・ 3年次編入学

短期大学の看護系学科及び看護系専修学校の卒業生等に、看護に対する専門能力及び指導能力をより高める機会を提供することを目的として、3年次への編入学を実施し、英語と総合問題と面接を課しています。総合問題では、専門基礎科目並びに専門科目に関する基礎知識・問題解決能力・統合能力を測り、面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

## 志望学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般入試（個別学力検査）について、前期日程から一つ、後期日程から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

医学部で志望できる学科は、前期日程及び後期日程とも一つのみです。（ただし、医学部医学科は後期日程は実施しません。）

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

## 出願資格

平成22年度大学入学者選抜「**大学入試センター試験**」で**本学が指定する教科・科目を受験した者**で、次のいずれかに該当する者です。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成22年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成22年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成22年3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課入試企画グループへ申し出てください。

（66ページを参照してください）

【注】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

## 選抜方法

### 【前期日程】

1. 入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書に基づいて総合判定します。同点者がいる場合は、医学科は大学入試センター試験の数学Ⅰ・数学Aの高得点者、大学入試センター試験の外国語の高得点者の順に優先します。看護学科は大学入試センター試験の高得点者を優先します。
2. 医学科、看護学科とも入学志願者が著しく多い場合は、大学入試センター試験の成績（傾斜後の得点）により、第1段階選抜を行います。第1段階選抜では、医学科は募集人員の約3倍、看護学科は6倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査を実施します。
3. 第1段階選抜については、平成22年2月10日（水）に合否を決定し、郵送によりその旨本人に通知します。**なお、合格者には併せて受験票を同封します。**
4. 大学入試センター試験成績の複数年度の利用について  
本学では平成22年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。

### 【後期日程】

1. 後期日程は、看護学科のみ実施します。
2. 入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書に基づいて総合判定します。同点者がいる場合は、大学入試センター試験の高得点者を優先します。
3. 入学志願者が著しく多い場合は、大学入試センター試験の成績（傾斜後の得点）により、



第1段階選抜を行います。第1段階選抜では、募集人員の7倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査を実施します。

4. 第1段階選抜については、平成22年2月16日（火）に合否を決定し、郵送によりその旨本人に通知します。なお、合格者には併せて受験票を同封します。

5. 大学入試センター試験成績の複数年度の利用について

本学では平成22年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。

## 7. 一般入試募集人員【医学部】

学部	学 科	入学定員	募 集 人 員			
			前期日程	後期日程	推薦入試	AO入試【注2】
医学部	医 学 科	95 【注1】	65	0	0	30 【注3】
	看 護 学 科	60	35	15 【注4】	10	0
	計	155	100	15	10	30

【注1】医学部医学科の入学定員については「経済財政改革の基本方針2009」に基づき、現在、文部科学省に若干名の増員を申請中です。認可された場合は「一般入試（前期）」の募集人員を増員し、「大分県医師修学資金」の貸与を受ける地域枠となる予定ですが、変更もあり得ます。

認可申請が認められた場合は本学ホームページ等で公表しますので、ご確認ください。

【注2】AO入試の入学手続き者が募集人員に満たなかった場合は、一般入試（前期日程）から補充することがあります。

【注3】医学科AO入試の募集人員30名には地域枠5名を含みます。

【注4】看護学科後期日程募集人員には、社会人入試の募集人員（若干名）を含んでおり、合わせて15名です。

## 8. 一般入試前期日程

### 8-I. 入学者選抜の実施教科・科目等【医学部・前期日程】

試験区分		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等
学部・学科			
医学部	医学科	国語「国語」 1科目 地歴「世界史B」「日本史B」「地理B」 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } から1科目 数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科①「生物I」 理科②「化学I」 } から2科目 理科③「物理I」 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7科目)	理科〔物理I・物理II〕 } から2科目 〔化学I・化学II〕 } 〔生物I・生物II〕 } 数学〔数学I・数学II・数学III・ 数学A・数学B・数学C〕 1教科 英語〔英語II・リーディング・ ライティング〕 1教科 面接 {医学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲などを総合的に評価します。}
	看護学科	国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 から1科目 数学①「数学I・数学A」 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 } から1科目 理科①「理科総合B」「生物I」 理科②「理科総合A」「化学I」 } から2科目 理科③「物理I」 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (6教科7科目)	小論文 {課題式や資料式の小論文について解答させ、論理的思考力、表現力、読解力、及び看護学を学ぶための適性を評価します。}

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」及び「 」書きは、科目の区分を示します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 複数の教科・科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

イ) 「英語」はリスニングテストを含みます。「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、次頁の表に記載しているセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

ウ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【注3】個別学力検査について

- ア) 医学科の理科の科目は、試験開始後に2科目選択してください。
- イ) 医学科の数学B・数学Cの出題範囲については、次のとおりです。
- ウ) 物理は、物理Iと物理IIの全ての項目を出題範囲とします。
- エ) 化学は、化学Iと化学IIの全ての項目を出題範囲とします。
- オ) 生物は、生物Iと生物IIの全ての項目を出題範囲とします。

数学B (数列, ベクトル)

数学C (行列とその応用, 式と曲線)

## 8-Ⅱ. 個別学力検査の日程及び検査時間【医学部・前期日程】

検査期日	学 科	検 査 科 目 等	検 査 時 間
2月25日(木)	医 学 科	理科〔物理I・物理II〕〔化学I・化学II〕〔生物I・生物II〕から2科目	9:00～11:00
		数学〔数学I・数学II・数学III・数学A・数学B・数学C〕	12:40～14:00
		英語〔英語II・リーディング・ライティング〕	14:40～16:00
	看護学科	小論文	9:00～11:00
2月26日(金)	医 学 科	面 接	午前の部 8:30 集合 (予定) 午後の部 12:45 集合 (予定)

【注1】筆記試験は、当該試験終了まで退室できません。筆記試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内に限り、受験を認めます。

【注2】面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については受験票送付の際にお知らせします。

なお、面接集合時刻に遅刻した場合は、面接者の1人目が始まるまでに到着した場合に限り、受験を認めます。

## 8-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【医学部・前期日程】

医 学 科

大学入試センター試験					個別学力検査等					合計点
国 語	地歴又は公民	数学① 数学②	理科① 理科② 理科③	外国語	理 科	数 学	英 語	面 接	調査書	
100	(50)	50×2	(50×2)	100	100×2	100	100	200	50	1100

看 護 学 科

大学入試センター試験					個別学力検査		合計点
国 語	地 歴 公 民	数学①又は 数学②	理科① 理科② 理科③	外国語	小論文		
100	50×2	(100)	(50×2)	100	100		600

【注1】大学入試センター試験及び個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、**不合格**となります。

【注2】( ) 書きの配点の教科・科目については、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

## 9. 一般入試後期日程

### 9-I. 入学者選抜の実施教科・科目等【医学部・後期日程】

学部・学科		試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等
医学部	看護学科		国語「国語」 1科目  地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1科目  公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」から1科目  数学①「数学Ⅰ・数学A」 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 } から1科目  理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 理科③「物理Ⅰ」 } から2科目  外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目  (6教科7科目)	面接 {看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲などを総合的に評価します。}

【注1】大学入試センター試験について

ア) この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。

イ) 複数の教科・科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

ウ) 「英語」はリスニングテストを含みます。「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、次頁の表に記載しているセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

エ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

### 9-Ⅱ. 個別学力検査の日程及び検査時間【医学部・後期日程】

検査期日	学 科	検 査 科 目 等	検 査 時 間
3月12日(金)	看 護 学 科	面 接	午前の部 8:30 集合 (予定) 午後の部 13:00 集合 (予定)

【注】面接の集合時刻は午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については受験票送付の際にお知らせします。  
なお、面接集合時刻に遅刻した場合は、面接者の1人目が始まるまでに到着した場合に限り、受験を認めます。

### 9-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【医学部・後期日程】

看護学科

大学入試センター試験					個別学力検査	合計点
国 語	地 歴 公 民	数学①又は 数学②	理科① 理科② 理科③	外国語	面 接	
100	50 × 2	(100)	(50 × 2)	100	100	600

【注1】大学入試センター試験及び個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、**不合格**となります。

【注2】（ ）書きの配点の教科・科目については、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

# 【 工 学 部 】

工学部アドミッション・ポリシー

志望学部・学科等

出願資格

選抜方法

一般入試募集人員

一般入試前期日程

一般入試後期日程

# 工学部アドミッション・ポリシー

## 基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することです。

## 教育の目標

学生の立場にたった教育体制のもとで、自らの課題を探求する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満たすゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を備えるとともに、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成することです。

## 求める学生像

環境や社会に対する影響も予見しながら自然との共生や、真に人類に役立つ技術とは何かを自ら考え、先進的科学技术によって人類福祉に貢献する意欲をもち将来への可能性を秘めている人を求めています。

以上の観点と本学の求める学生像から、具体的には、次のような人を求めています。

- 1 工学の基礎をなす科目に対して基礎学力を備え、広範囲な事象に対して強い知的好奇心をもっている人
- 2 新しい課題を自ら見いだす着想力をもち、この課題に立ち向かう強い意志とねばり強さをもっている人
- 3 豊かな感性と表現力をもち、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく姿勢をもっている人
- 4 技術者として、国際舞台でリーダーシップと行動力を発揮することに強い意志をもっている人

特に、各学科では、次のような人を求めています。

### 〈機械・エネルギーシステム工学科〉

本学科は、機械に関する基礎技術と利用技術、メカトロニクス、ロボティクスなどの制御の分野、新エネルギー、エネルギーの有効利用に関する技術開発および利用技術に重点を置く、機械工学・電気工学の総合的な教育と研究を行います。

以上のような教育理念に基づき、本学科では次のような人を求めています。

- 1 数学及び物理に関する基礎学力を備え、国語及び英語に関する基礎的な語学力も有し、自分の意見を論理的に説明できる人
- 2 自ら問題を見だし、計画的にその解決をめざすことができるリーダーシップと行動力をもっている人
- 3 ものづくりに興味があり、そのために必要な深い専門知識を身につけて創造的技術者や研究者となることをめざし、それによって人のために役立ちたいという強い意志をもっている人
- 4 地球規模での課題に問題意識をもち、それらの課題と技術との融合について関心をもっている人

### 〈電気電子工学科〉

本学科は、電気、電子、情報、通信等に代表される電気電子工学の広範な分野の中で、社会

や環境に対する影響も予見しながら、人類の幸福・福祉に役立つ技術とは何かを積極的に考え、技術の発展や学問の進展に貢献することのできる人材の育成を目的にしています。

以上のような観点から、本学科ではつぎのような人を求めます。

- 1 高等学校での基礎的な学習内容をよく理解して、電気電子工学並びに幅広い教養を学ぶための基礎学力をもっている人
- 2 現代社会の抱える課題や科学技術に関心があり、自ら学び理解しようという知的好奇心をもっている人
- 3 何事にも積極的にチャレンジする行動力をもっている人

#### 〈知能情報システム工学科〉

本学科は、人の知を拡大する新世代知的 I T（情報技術）革命の担い手となる国際的技術者・研究者を育てるという教育理念に基づき、次のような人を求めます。

- 1 情報科学の基礎から情報・知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組むことができる基礎的な能力と旺盛な知的好奇心をもっている人
- 2 高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人
- 3 豊かな感性と表現力・コミュニケーション能力をもち、自ら考えて行動し、夢の実現に向かってチャレンジすることができる人

#### 〈応用化学科〉

私達が将来にわたって地球上で共存し幸福に暮らしていくためには、エネルギー・情報・環境に関して生じてくる複雑な問題を科学的に解決していかなければなりません。化学は物質の存在形態と変化の本質を明らかにしようとする学問ですから、種々の課題の解決における化学の知識と技術の重要性は、新しく形を変えつつますます大きくなってきています。

本学科は、私達の生産活動、毎日の生活や自然現象を化学的な立場から自ら進んで考え、化学技術によって人類福祉に貢献することのできる技術者、研究者の養成を目標にしています。

応用化学科の教職員は、一生懸命自分を高めようと頑張る学生諸君を力いっぱい支援します。

以上の観点から、本学科では次のような高校生や社会人を求めています。

- 1 自然界や人間社会、産業社会のさまざまな現象について常に科学的・化学的観点から興味をもつことができる人
- 2 工学を学ぶために必要な、数学、化学とともに物理あるいは生物について基礎学力をもっている人
- 3 英語、国語の基礎的語学能力をもとに、与えられた課題について論理的かつ自由な発想で考え、意見を発表することができる人
- 4 学習の目標を達成する強い意志をもっている人

#### 〈福祉環境工学科〉

本学科は、すべての人が幸福を感じられる高度福祉社会を、工学的側面から実現するための研究開発と人材養成を行うことを理念にしており、このような目標に向かって努力できる人を求めています。

##### ・建築コース

建築は生活の器として人間に密接な存在であり、都市や地域の環境を構成する基本的な要素です。そのため、建築には自然と共生しながら、人間生活の安全性・快適性を追求し、その質はもちろん、都市空間の質をも向上させながら、長年にわたって持続させていくことが要求されます。したがって、自然科学や工学の分野だけでなく、人文、社会科学から芸術に



わたる幅広い知識が必要となります。

本コースでは、高度化・多様化・国際化している社会のニーズに対応できる豊かな発想力と幅広い知識を持つ建築家、建築技術者、研究者の育成を目標としています。そのため本コースでは以下のような意欲と情熱をもつ人を求めています。

- 1 工学、人文、社会科学並びに芸術の分野に関心があり、建築に関する幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートをめざしている人
- 2 国際的なコミュニケーション能力を有する技術者になりたいという強い意志をもっている人
- 3 自ら課題を見つけだし、それを解決できる行動力と柔軟な思考力をもっている人

#### ・メカトロニクスコース

機械部品と電気部品とその制御装置が複合されたメカトロニクス装置 (= Mechanics + Electronics, ロボットはその一例)は、多くの人の負担を軽減すると共に、今まで人しかできなかつた作業も可能にしつつあります。

本コースは、このメカトロニクス装置に関する技術を通じて社会のニーズに貢献するメカトロニクス技術者・研究者の育成を目標とし、次のような人材を求めています。

- 1 自分の力を人々の生活の質の向上に役立てようとする気持ち『福祉マインド』を持ち、これを育もうとする人
- 2 理工学、人文並びに社会科学の分野に関心があり、メカトロニクスに関する幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートをめざしている人
- 3 国際的なコミュニケーション能力を有する技術者になりたいという強い意志をもっている人
- 4 自ら課題を見つけだし、それを解決できる行動力と柔軟な思考力をもっている人

### 入学者選抜の基本方針

本学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般入試（前期日程・後期日程）のほか推薦入試、帰国子女入試、私費外国人留学生入試を実施し、アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。

#### ・一般入試（前期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）および個別学力検査（数学、理科）により、専門分野の学習に必要な基礎学力を見ます。

#### ・一般入試（後期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）により、専門分野の学習に必要な基礎学力を見るとともに、個別学力検査（面接）により、専門分野への関心や意欲と自己表現力を見ます。

#### ・推薦入試

大学入試センター試験および個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、小論文Ⅰ、小論文Ⅱおよび面接により総合的に評価し、選抜します。小論文Ⅰでは、現代社会の抱える課題や科学技術への関心・理解、判断力・表現力を見ます。小論文Ⅱでは、いくつかの設問を通じて、基礎学力を含む論理的思考力や課題解決能力を見ます。また面接では、専門分野への関心・意欲・理解を見るとともに、積極性、自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み、理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

#### ・帰国子女入試

大学入試センター試験を免除し、本学で実施する学力検査（数学、理科、英語）、面接、提

出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、専門分野への関心・意欲・理解を見るときともに、積極性、自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み、理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学，理科，英語），面接により総合的に評価し、選抜します。面接では、日本語能力，専門分野への関心・意欲・理解を見るときともに、積極性，自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み，理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

・第3年次編入学

面接，提出書類により総合的に評価し，選抜します。面接では，簡単な筆記試験及び口頭試問により，基礎学力や専門分野の学力を見るときともに，専門分野への意欲，積極性，論理的思考力，自己表現力についても評価します。

## 志望学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般入試（個別学力検査）について、前期日程から一つ、後期日程から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

工学部の志望学科及び理科の受験科目については以下のとおりです。

1. 志望できる学科は、前期日程及び後期日程とも第3志望まで認めます。ただし、福祉環境工学科については、建築コースとメカトロニクスコースでコース別に募集します。従って、第1～第3志望を選択するときは、機械・エネルギーシステム工学科、電気電子工学科、知能情報システム工学科、応用化学科、福祉環境工学科（建築コース）、福祉環境工学科（メカトロニクスコース）の中から志望順に3つまでを選択することになります。また、第1志望のみ又は第2志望まででもかまいません。
2. 前期日程において、**第2志望以下での個別学力検査での理科の受験科目**は入学者選抜の実施教科・科目等（60ページ）を参照してください。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

## 出願資格

平成22年度大学入学者選抜「大学入試センター試験」で本学が指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者です。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成22年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成22年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成22年3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課入試企画グループへ申し出てください。

（66ページを参照してください）

【注1】学校教育法第90条第2項による高校2年生からのいわゆる飛び入学については、実施しません。

【注2】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

## 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書に基づいて総合判定します。

1. 調査書について

出身高等学校長等が作成したものについて審査します。

2. 大学入試センター試験成績の複数年度の利用について

本学では平成22年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。

## 10. 一般入試募集人員【工学部】

学部	学 科		入学定員	募 集 人 員		
				前期日程 【注1】	後期日程	推薦入試
工 学 部	機械・エネルギー システム工学科		80	51	15	A推薦 11 B推薦 3
	電気電子工学科		80	50	14	A推薦 13 B推薦 3
	知能情報システム工学科		70	44	11	A推薦 10 B推薦 5
	応用化学科		60	33	10	A推薦 15 B推薦 2
	福祉環境工学科	建築コース	50	32	10	A推薦 3 B推薦 5
		メカトロニクス コース	30	16	6	A推薦 6 B推薦 2
計			370	226	66	78

【注1】前期日程には次の選抜の募集人員を含みます。

- ・帰国子女入試（若干名）

## 11. 一般入試前期日程

### 11-I. 入学者選抜の実施教科・科目等【工学部・前期日程】

試験区分		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目
学部・学科			
工 学 部	機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科	国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 数学①「数学I」「数学I・数学A」 から1科目	数学〔数学I・数学II・数学III・ 数学A・数学B・数学C〕 1教科 理科〔物理I・物理II〕 1教科
	知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科	数学②「数学II」「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 } から1科目 理科②「化学I」 1科目 理科③「物理I」 1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7科目)	数学〔数学I・数学II・数学III・ 数学A・数学B・数学C〕 1教科 理科〔物理I・物理II〕 } から1科目 〔化学I・化学II〕

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」及び「 」書きは、科目の区分を示します。

イ) 複数の教科・科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【注3】個別学力検査について

ア) 第2志望以下の個別学力検査受験科目(理科)は, [物理Ⅰ・物理Ⅱ] [化学Ⅰ・化学Ⅱ] のいずれでも構いません。

イ) 数学B・数学Cの出題範囲については, 下記のとおりです。

・数学B(数列, ベクトル) ・数学C(行列とその応用, 式と曲線)

ウ) 物理Ⅱの出題範囲から除くのは, 次のとおりです。(原子・電子と物質の性質, 原子の構造, 原子核と素粒子)

エ) 化学の出題範囲

化学Ⅰ及び化学Ⅱをあわせた範囲から出題します。ただし, 化学Ⅱの「生活と物質」, 「生命と物質」の内容を主として含む出題の場合は, 背景を説明した上で総合問題として出題する, 選択問題にするなどの配慮を行います。

11-Ⅱ. 個別学力検査の日程及び検査時間【工学部・前期日程】

検査期日	検査科目等	検査時間	備考
2月25日(木)	数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C〕	10:00~11:40	・当該試験終了まで退室できません。 ・試験開始時刻に遅刻した場合は, 試験開始後20分以内に限り, 受験を認めます。
	物理〔物理Ⅰ・物理Ⅱ〕	13:10~14:40	
	化学〔化学Ⅰ・化学Ⅱ〕	13:10~14:40	

11-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【工学部・前期日程】

大学入試センター試験							個別学力検査		合計点
国語	地歴又は 公民	数学①	数学②	理科②	理科③	外国語	数学	理科	
150	(75)	50	50	50	50	200	200	200	1025

【注1】大学入試センター試験及び個別学力検査に必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく, 不合格となります。

【注2】( ) 書きの配点の教科・科目については, 受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

## 12. 一般入試後期日程

### 12- I. 入学者選抜の実施教科・科目等【工学部・後期日程】

試験区分		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査 の教科・科目	備 考
学部・学科				
工 学 部		国 語「国語」 1 科目	面 接	
	機械・エネルギー システム工学科	地 歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から 公 民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 1 科目		
	電 気 電 子 工 学 科	数学①「数学 I」「数学 I・数学 A」 から 1 科目		
	知能情報 システム工学科	数学②「数学 II」「数学 II・数学 B」「工業数理基礎」「簿記・会計」 } から 1 科目 「情報関係基礎」 }		
	応 用 化 学 科	理科②「化学 I」 1 科目		
	福 祉 環 境 工 学 科	理科③「物理 I」 1 科目		
		外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から 1 科目 (5教科7科目)		

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。

イ) 複数の教科・科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。

イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

【注3】個別学力検査について

ア) 面接では志望学科やそれに関わる分野への関心、意欲、積極性、理解力、自己表現力をみます。

12-Ⅱ. 個別学力検査の日程及び検査時間【工学部・後期日程】

検査期日	検査科目等	検査時間	備考
3月12日(金)	面接	10:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9時30分までに集合（場所は当日掲示）してください。</li> <li>・試験開始時刻に遅刻した場合は、面接者の1組目または1人目の試験が終了し退室するまでに限り、受験を認めます。</li> <li>・面接中に検査場で昼食をとるので、弁当を持参してください。</li> </ul>

12-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【工学部・後期日程】

大学入試センター試験							個別学力検査	合計点
国語	地歴又は公民	数学①	数学②	理科②	理科③	外国語	面接	
125	(75)	150	150	100	100	200	200	1100

【注1】大学入試センター試験及び個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、**不合格**となります。

【注2】（ ）書きの配点の教科・科目については、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します



# 【全学部共通事項】

出願手続

入学資格審査について

障がいのある者等の事前相談

受験の際の宿泊

検査場

合格者発表

追加合格

入学手続

情報提供

その他

### 13. 出 願 手 続

(1) 出願期間

平成22年1月25日（月）から2月3日（水）まで。（土日を除く）

ア) 受付時間は、9時から17時まで。

イ) 郵送の場合は2月3日（水）17時**必着**です。

(2) 出願方法

出願に当たっては、本要項に添付されている**日程毎（前期・後期）に色分けした封筒**を用い、郵送する場合は**書留速達**としてください。

(3) 出願書類等

書 類 名	内 容 等	該 当 者
入 学 志 願 書 受 験 票 電 算 処 理 原 票	本学所定の用紙に必要事項を記入し、下記のを貼りつけてください。 ア) 大学入試センター試験成績請求票 イ) 写真（縦4cm×横3cm、上半身、正面向きで、本人であると確認できるもの） ウ) 志願学科（コース）等及び受験科目 エ) 郵便振替払込受付証明書（大学提出用）または収納証明書等	全 員 （前後期とも受験する場合は2通必要です）
調 査 書 【注】参照	文部科学省所定の様式で、出身学校長が作成し厳封したもの。（平成22年3月卒業見込者については、2(前)学期末現在で作成したもの） なお、出身学校が文書保存期間等の関係で発行できない場合は、その理由を記載の上、成績証明書を提出してください。	
曲 目 調 査 票	教育福祉科学部教科教育コースの個別学力検査（前期日程）科目を音楽（実技）で受験する者及び総合表現コースの個別学力検査（前期日程）実技のうち音楽表現で受験する者は、本学所定の用紙で提出してください。	
志 願 調 書	<b>医学部看護学科(後期日程)</b> を志願する者は、本学所定の用紙に志願者本人が自筆で記入してください。	
返 信 用 封 筒	本学所定の封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、 <b>350円切手</b> を貼ってください。	
検 定 料 (17,000円)	次のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。 ① 金融機関（郵便局またはゆうちょ銀行を含む）での払込 本学所定の振込用紙を用い、金融機関（郵便局またはゆうちょ銀行を含む）窓口で振込手続きを行ってください。 ② コンビニエンスストアでの払込 本学ホームページ <a href="http://www.oita-u.ac.jp/">http://www.oita-u.ac.jp/</a> （携帯版は <a href="http://daigakuic.jp/u.php?u=00041">http://daigakuic.jp/u.php?u=00041</a> ）から払込専用ホームページへアクセスするか、直接下記アドレスにアクセスし、指示に従い払込手続きを行ってください。 (払込専用URL) <a href="http://www.oita-u.net/">http://www.oita-u.net/</a> (携帯電話用URL) <a href="http://www.oita-u.net/mobile/">http://www.oita-u.net/mobile/</a> （一部のフィルタリングサービス加入の携帯からはアクセスできないことがあります。） 振込後は、①の場合は「郵便振替払込受付証明書（大学提出用）」を、②の場合は収納証明書（コンビニによっては領収書）を、受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。 手数料は本人負担です。納入した検定料は返還できません。 ただし、第1段階選抜（医学部のみ実施）の不合格者には、入学検定料の額のうち、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」（平成17年3月31日文部科学省令第20号）第4条に記載された標準額に基づき本学が定める返還額について本学の定める方法により返還します。また、出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者には、上記省令に記載された第2段階選抜標準額に準じ本学の定める金額を本学の定める方法により返還します。	全 員 （前後期とも受験する場合は2通必要です）
住 所 シ ール	本学所定の住所シール①～④すべてに合格通知等を受け取る住所等を記入してください。	

【注】文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者及び高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定等の合格者については、当該試験等の資格証書の写し及び成績証明書をもって調査書に代えることができます。なお、高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定合格者で、高等学校もしくは中等教育学校に在学したことのある者は、在学期間中の調査書又は成績証明書をあわせて提出してください。

(4) 出願上の注意事項

ア) 国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）の推薦入試合格者は、合格した大学・学部の定める手続により、当該大学・学部への入学辞退を許可された場合を除き、個別学力検査を受験しても入学許可は得られません。

イ) 国公立大学の前期日程に合格し、入学手続を行った者は、後期日程を受験しても合格者とはなりません。

ウ) 出願書類等の不備なものは受付できません。

エ) 提出後は、出願書類等の記載内容の変更はできません。**検査科目等が不明**となる場合がありますので、誤りのないよう記入（貼付）してください。

オ) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

カ) 出願書類等は受付後は返却できません。

※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照

(5) 受験票の交付

受付完了後、受験票を本人宛に送付します（医学部は、第一段階選抜後発送。詳細は44、45ページ「選抜方法」を参照）。なお、個別学力検査当日は**大分大学受験票と大学入試センター試験受験票**を持参してください。

(6) 出願書類の提出先

〒870-1192 大分市大字巨野原700番地

大分大学学生支援部入試課入試企画グループ TEL 097-554-7471

## 14. 入学資格審査について

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願を希望する者は、入学資格認定の審査を行いますので、事前に学生支援部入試課入試企画グループへ申し出を行い、関係書類を平成22年1月8日（金）（ただし大学入試センター試験を受験後、本学に志望変更した場合は平成22年1月20日（水））までに提出してください。

<参考>学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

申出先 〒870-1192 大分市大字巨野原700番地

大分大学学生支援部入試課入試企画グループ (TEL097-554-7471)

## 15. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、下記要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成22年1月15日（金）までに申し出てください。

ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になった場合には、その旨申し出てください。

(2) 申出方法

申請書（健康診断書等必要書類添付）を提出し、必要な場合は本学において、志願者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談を行います。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課入試企画グループ TEL097-554-7471

### 16. 受験の際の宿泊

宿泊を希望する者は、この「学生募集要項」に同封している「宿泊のご案内」を参照してください。

### 17. 検査場

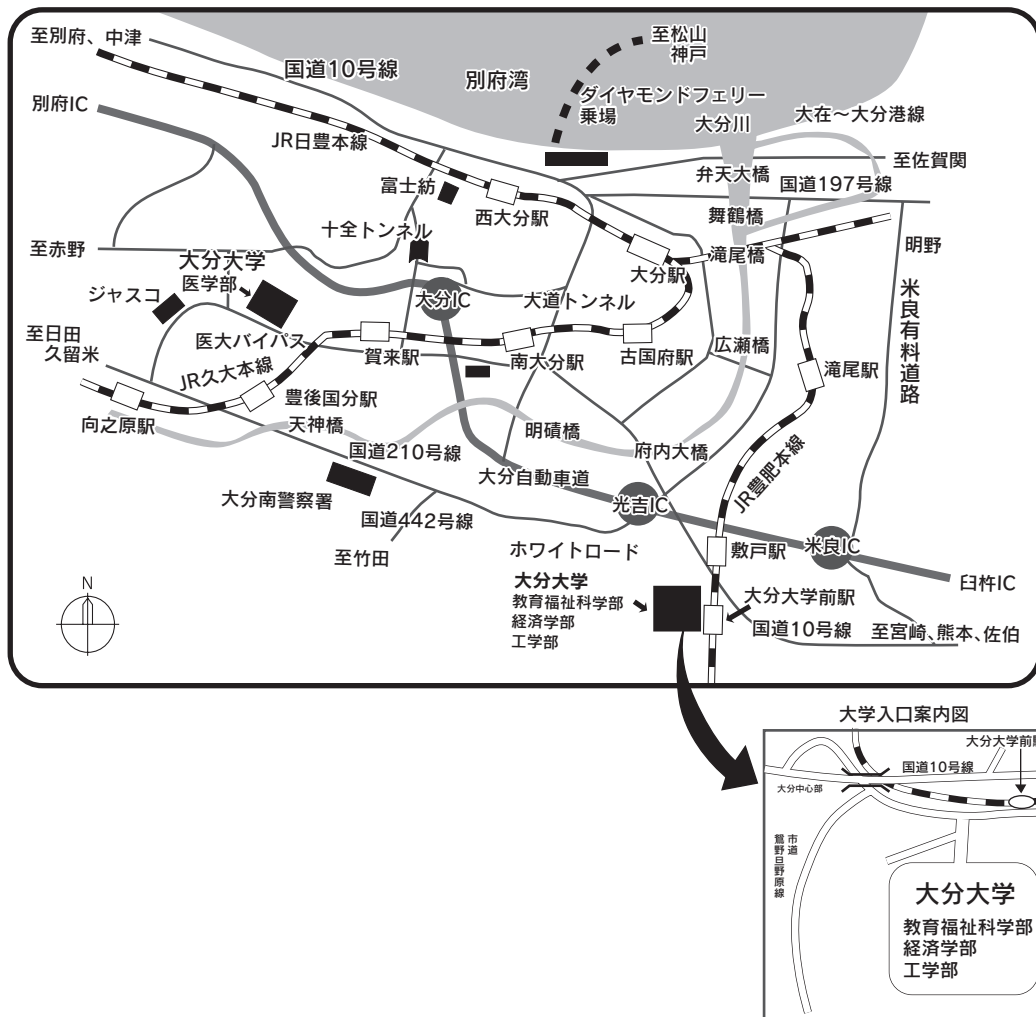
(1) 検査場の下見は、各検査日前日の14時～16時の間に行ってください。ただし、挟間キャンパスについては建物内に入ることはできません。

(2) 各検査場は掲示板で確認してください。

※実技検査は、当日検査開始30分前までに受験票で指定した集合場所に集合し、係員の指示に従ってください。

(3) 旦野原キャンパス（教育福祉科学部，経済学部，工学部：大分市大字旦野原700番地）には自動車・バイクでの入構ができますが、挟間キャンパス（医学部：由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地）には十分な駐車場がありませんので、公共交通機関等を利用してください。

### 大分大学位置図



## 巨野原キャンパス

(教育福祉科学部, 経済学部, 工学部: 大分市大字巨野原700番地)

< JR利用 >

JR豊肥本線「大分大学前駅」下車(大分駅より約12分:240円), 徒歩約5分

< バス利用 >

大分バス トキハデパート(府内町)前から

- 「大南団地・高江ニュータウン」又は「大分大学」行きを利用。「大分大学」又は「大分大学正門」下車(約40分:360円)
- 「戸次,白杵,竹田,三重,佐伯」行き等を利用。「大分大学入口」下車(約40分:350円), 徒歩約10分

### ●臨時バスの運行

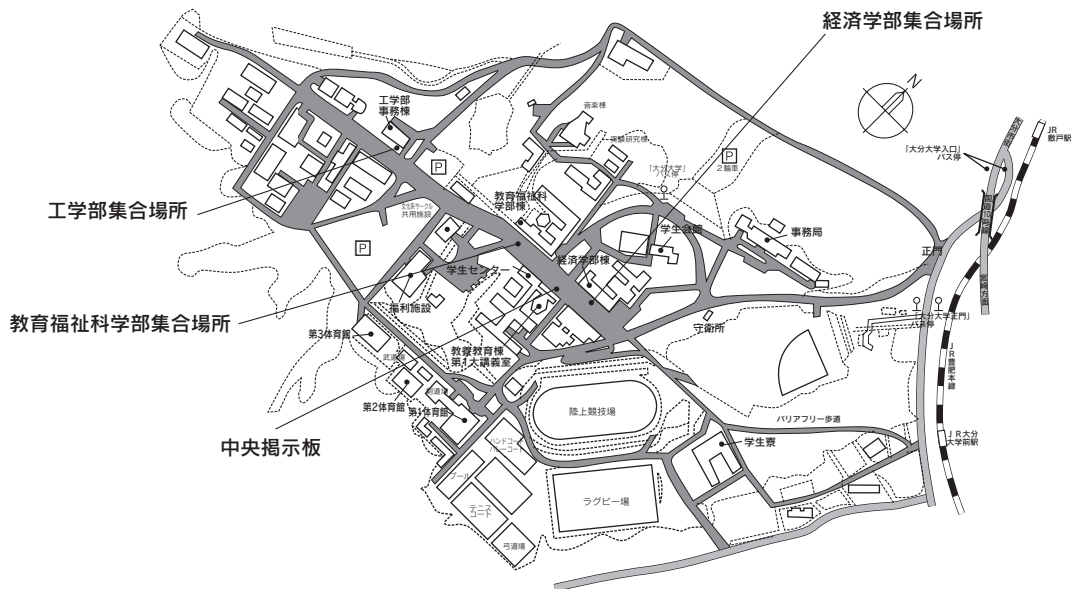
検査場の下見時及び検査当日大分大学まで次のとおり臨時バスを運行する予定です。(約40分:360円)

検査場の下見=各検査日の前日13時頃から→トキハ前①のりば発

検査当日=各検査日の8時頃から→マクドナルド前③のりば発

※ただし, 前期日程2日目, 2月26日(金)分の検査場の下見及び検査当日の臨時バスの運行はありません。

### 学内案内図



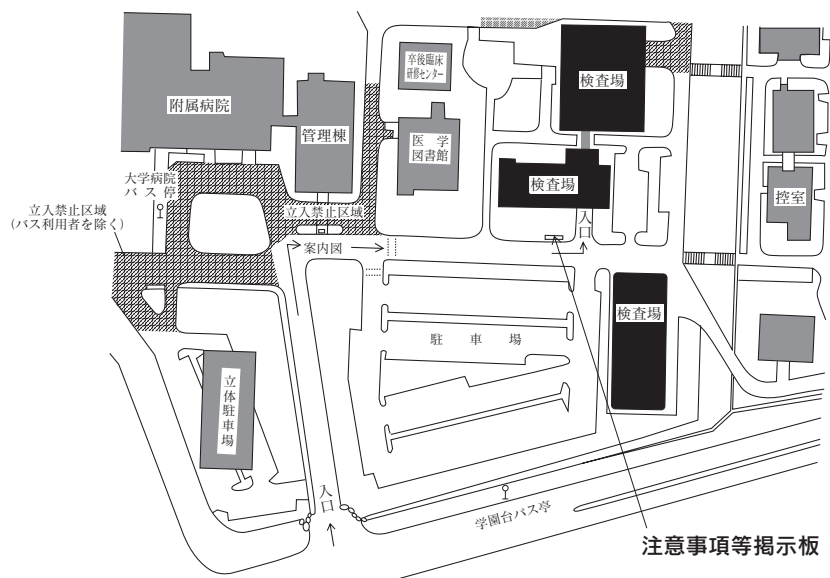
## 挾間キャンパス

(医学部: 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地)

< バス利用 >

大分バス トキハデパート(府内町)前又はJR大分駅前のりばから

- 「大学病院」行きを利用。「大学病院」下車(所要時間約40分:410円)



## 18. 合格者発表

合格者は、次のとおり大分大学教養教育棟前の中央掲示板（全学部合格者）及び医学部管理棟前（医学部合格者）に「掲示」とともに、本人宛に「合格通知」を送付（同時刻に発送）します。また、「21. 情報提供」欄の「大分大学ホームページへの一般入試入試情報の掲載について」も利用できます。

前期日程	平成22年 3月9日（火） 10時
後期日程	平成22年 3月21日（日） 17時

※これら以外の合否通知等については、本学は責任を負いません。

## 19. 追加合格

入学手続完了者が定員に満たない場合、いずれの国公立大学にも入学手続を行っていない者を対象に、追加合格により欠員補充を行うことがあります。

志願書に記載している追加合格連絡先に電話連絡で入学意志の確認を行いますので、下記期間中は連絡先に待機しておいてください。なお、追加合格の有無については、「21. 情報提供」欄の「大分大学ホームページへの一般入試入試情報の掲載について」にて確認できます。

連絡期間	平成22年3月28日（日）～平成22年3月31日（水）
------	-----------------------------

## 20. 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。なお、入学手続には**大学入試センター試験受験票**も必要ですので、受験後も保管しておいてください。

### (1) 入学手続期日

前期日程	平成22年3月14日（日）・15日（月）	受付時間は各日とも 9時～17時です。
後期日程	平成22年3月26日（金）・27日（土）	

※入学手続の詳細は、合格通知とともに郵送します。なお、期日中に入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。

### (2) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）

注1. 入学料及び授業料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度があります。

（学生支援課奨学支援グループ TEL 097-554-7386 にお問い合わせください。）

注2. 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付できます。

注3. 入学料・授業料は改定される可能性があります。

なお、在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

注4. 既納の入学料は返還できません。

### (3) 国公立大学に入学手続完了後は、それを辞退して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

## 21. 情報提供

### (1) 大分大学ホームページへの一般入試入試情報の掲載について

下記の期間、大分大学ホームページ（アドレスは<http://www.oita-u.ac.jp/>）からアクセスできます。

区 分	掲 載 期 間
出 願 状 況	平成22年1月29日（金）11時 ～2月4日（木）
合格者受験番号 （前期日程）	平成22年3月9日（火）11時 ～3月12日（金）
合格者受験番号 （後期日程）	平成22年3月21日（日）18時 ～3月24日（水）
追加合格実施状況	平成22年3月28日（日）11時 ～3月31日（水）

(2) 本学の情報は上記ホームページで見ることができます。

### (3) 入学試験個人成績の開示について

本学においては、大分大学入学者選抜試験個人成績を本人に限って開示します。

開示を希望される方は、次の要領で申し込んでください。

申込期間：平成22年5月6日（木）から6月25日（金）まで

※土・日曜日及び祝日は除きます。

申 込 者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

申込方法：下記の書類等を持参又は郵送で本学入試課に提出してください。

なお、郵送による申し込みの場合は、入学試験個人成績開示申請書発送後（投函後3～4日後）書類不備の有無についての確認及び本人からの申請であることを確認するため必ず電話連絡をしてください。

（TEL 097-554-7471 入試課入試企画グループ宛）

書類不備がある場合及び本人からの電話連絡がない場合は開示申請として取り扱いできませんので十分注意願います。

#### ① 入学試験個人成績開示申請書

（次のいずれかの方法により取り寄せてください。）

- ・本学入試課に直接来学する。
- ・大分大学ホームページから印刷して使用する。
- ・本学入試課宛に返信用封筒（長型3号の封筒に本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上80円切手を貼ったもの）を送る。なお、封筒の表に朱書きで「入学試験個人成績開示申請書請求」と明記してください。

#### ② 個別学力検査の受験票（写）

#### ③ 写真付きの身分証明書（写）

#### ④ 返信用封筒（長型3号の封筒に本人の住所・氏名を明記の上、380円分の切手を貼り簡易書留郵便としてください。）

開示方法：受験者本人宛に簡易書留郵便で受付後1ヶ月程度で送付します。

開示内容：平成22年3月下旬に、上記ホームページでお知らせします。

## 22. 過去問題の使用について

大分大学工学部は「入試過去問題活用宣言」に参加しました。

- (1) 本学のアドミッションポリシーを実現するため、工学部では必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません。
- (2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入学試験終了後、受験者に分かるような形で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、下記のURLにて公表しています。

<http://www.nyushikakomon.jp>

## 23. そ の 他

- (1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される旨、お知らせします。
- (2) 本学生募集要項に明記されている期日による試験実施が困難となる様な不測の事態が発生した場合は、本学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に対応の詳細をすみやかに掲載します。なお、不測の事態が発生した場合の問い合わせ先は大分大学学生支援部入試課 (電話 097-554-7471) です。
- (3) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除 (猶予) 及び奨学金を申請した者は、選考資料として利用します。